

# 地域医療学

## 1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	1 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	2 人	
合計	3 人	

## 2 教員の異動状況

山岡 泰治（特任教授）（H19.10.1～H20.7.31 特任准教授；H20.8.1～現職）

原岡 智子（特任助教）（H21.4.1～H25.3.31）

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

#### 4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

#### 5 医学研究費取得状況

	平成 26 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	0 件	(0 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)

#### 6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

#### 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	1 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	0 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(2) 国内学会の開催・参加

3) シンポジウム発表

1. 山岡泰治：緊急被ばく医療－福島第一原子力発電所事故から何を学んだか－，第 61 回日本麻酔科学会学術集会，横浜，2014 年 5 月 16 日

#### 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

#### 9 共同研究の実施状況

	平成 26 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

## 10 産学共同研究

	平成 26 年度
産学共同研究	0 件

## 11 受 賞

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

### 1. 中東遠および志太榛原の両医療圏の病院運営の安定化に向けた研究

中東遠医療圏および志太榛原医療圏は、静岡県内でも特に医師不足が深刻化している地域である。研究対象地域内の公立病院をはじめとする医療機関などを対象に文献および訪問調査に基づく分析を行い、医療機関の経営の課題や安定的な運営を図る上で障害となっている要因、さらには医療・福祉・介護の質の高い連携を図ることによって入院・外来・在宅医療の充実を図るために解決すべき課題を分析した。

また、研究成果のアウトリーチに注力し、こうした地域医療の中核を担う公立病院が将来にわたって医療ニーズに確実に応えるためには経営改革が急務である現状を踏まえ、磐田市立総合病院地域医療連携運営会議および公立森町病院経営改革委員会に参画し、病院の実態に即した助言・提言を行った。

さらに、地域医療を充実させるために不可欠となる在宅医療の普及に関して、静岡県在宅医療体制整備・推進協議会の委員として活動した。

### 2. 緊急被ばく医療に関する人材育成

突発的な災害の発生に対して限られた人的資源や医療設備・資機材を使って適切な医療サービスを提供するためには、有機的に連携できる人および組織の整備が欠かせない。さらに、連携体制を構築するにあたっては、地域の特性を踏まえて現有資源を活かすことが大切である。

こうした観点に立ちながら、緊急被ばく医療を対象として、中東遠医療圏および志太榛原医療圏における実効的な連携体制の確立と専門家育成を目指した活動に取り組み、初期被ばく医療機関の医療スタッフおよび事務職員を対象にした研修会を開催して緊急被ばく医療に係る知識および放射線防護の考え方に関する講義と実習を行った（2014年6月10日 菊川市立総合病院，2014年12月17日 焼津市立総合病院，2015年3月17日 藤枝市立総合病院）。

### 3. 2014年度の社会貢献事業

#### 1) 明日の病院運営を考える会（病院事務職員向け）

- ・2014年8月19日 浜松研修交流センター
- ・2015年2月13日 TPK 浜松アクトタワー カンファレンスセンター

#### 2) 地域医療支援ネットワーク協議会

- ・2014年5月28日 掛川グランドホテル
- ・2014年11月27日 掛川グランドホテル

- 3) 平成 26 年度西部地域包括ケアシステム研修会
  - ・ 2015 年 3 月 3 日 静岡県西部健康福祉センター
- 4) 静岡県放射線技師会 講習会
  - ・ 2015 年 3 月 21 日 静岡県総合研修所もくせい会館
- 5) 御前崎市 教員研修会
  - ・ 2014 年 8 月 1 日 浜岡原子力館
- 6) 袋井市 地域医療シンポジウム（地域医療を考える月間推進事業）
  - ・ 2014 年 9 月 20 日 袋井市月見の里学遊館
- 7) 牧之原市 地域医療講演会（地域医療を考える月間推進事業）
  - ・ 2014 年 9 月 23 日 榛原総合病院
- 8) 森町 地域医療講演会
  - ・ 2014 年 4 月 19 日 森町家庭医療クリニック
- 9) 御前崎市 地域医療講演会
  - ・ 2014 年 4 月 20 日 御前崎市原子力広報センター
- 10) 掛川市 地域医療講演会
  - ・ 2014 年 5 月 31 日 掛川市役所
- 11) 菊川市 地域医療講演会
  - ・ 2014 年 7 月 26 日 菊川市中央公民館
- 12) 磐田市 地域医療講演会
  - ・ 2014 年 12 月 14 日 磐田市総合健康福祉会館
- 13) こころざし育成セミナー（高校生向け）
  - ・ 2014 年 8 月 11 日 磐田市立総合病院
  - ・ 2014 年 8 月 25 日 静岡市立静岡病院
- 14) 静岡県立袋井高等学校 大学派遣講義（高校生向け）
  - ・ 2014 年 9 月 12 日 静岡県立袋井高等学校

### 13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

### 14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

### 15 新聞，雑誌等による報道

- |                         |         |                    |
|-------------------------|---------|--------------------|
| 1. 医師不足を考える催し           | NHK テレビ | 2014 年 5 月 28 日（水） |
| 2. 高校生が医療現場体験           | 静岡新聞    | 2014 年 8 月 13 日（水） |
| 3. 地域が守る医療 取り組みなど紹介     | 中日新聞    | 2014 年 8 月 30 日（土） |
| 4. 地域医療 住民も理解を 浜松医科大が冊子 | 中日新聞    | 2014 年 9 月 17 日（水） |